

令和5年度 FD 実施状況最終報告

令和6年4月

I 学部学科・研究科名

教育学部 児童幼児教育学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・DP ルーブリックの策定 ・DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討 ・アセスメントプランに基づく成果の検証と公表の開始	I-1-(1)	・年間を通して、既存の「教職ルーブリック」と「保育職ルーブリック」の再確認・再検討を実施。学部における DP ルーブリックの現状と課題が共有された。 ・アセスメントプランについては、本年度開始の新カリキュラムの運用と併せて、DP ルーブリックの検討とともに試案が作成された。（公表開始は R8 の予定）
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ルーブリックの実効性検証	I-2-(1)	・①授業ルーブリック・②課題ルーブリックの実施率は、R6 開講科目の実施率はそれぞれ①41% (39%) ②30% (27%) であった。 ※（ ）内数値は令和5年度実績 ・ルーブリックの実効性検証：検証方法について検討中である。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の実施状況の振り返り及び拡大（情報教育センター・教養教育センター及び各学科へ検討依頼）	I-1-(4)	・本年度開始の新カリキュラムで、数理・データサイエンス・AI に関連する新科目「情報リテラシー」が開講（受講者 251 名）。「コンピュータサイエンス教育」「ICT 活用の理論と方法」「教育方法学」との系統が示された。 「データサイエンス入門」の受講者：前学期 124 名、後学期 93 名である。
4	「成績評価ガイドライン」のポリシー策定 ・「成績評価ガイドライン」のポリシーの運用開始、実効性の検証	I-2-(2)	・「教育学部成績評価ガイドライン実施要領 2023」を策定、運用を開始した。実効性の検証としては、本ガイドラインに則った成績評価を行った。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	・年間を通じて計画的な FD 研修の展開を図り、教職協働を意識しながらの教育の質保証（DP 保証）と研究活動の充実に向けた取り組みが展開された。本年度開始の新カリキュラムの運用に関連した取り組みが積極的に推進された。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
5	4月	<p>テーマ1「令和5年度FD活動プランについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業計画の活動プランの説明。業務分掌、教務関連スケジュール、研究関連スケジュールの確認。 (話題提供:FD委員・FDセンター委員・各計画の主担当者・各種委員/カテゴリ:全般) <p>テーマ2「教育実習のための在外教育施設との協定締結について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 進捗状況の報告。(話題提供:FD委員・教職課程委員会/カテゴリ:教育) 	4月6日	<p>テーマ1:令和4年度の学部FD研修・実施の点検結果の報告ならびに第8次中期総合計画に基づく令和5年度事業計画の目標達成に向けた学部FDの年間活動プランの説明を実施。業務分掌を明確にし、教務的な業務及び教育・研究の充実に資するFD実施に関連するスケジュール等の共有が図られ、4月学科会議にて了承された。</p> <p>テーマ2:担当者より、教育実習等にかかる在外教育施設との協定締結に向けたロードマップの再確認とオーストラリア現地校の選定にかかる報告がなされた。併せて、23年度開始の新カリキュラムにおける関連授業の位置付けや実施計画等について確認と共有が図られた。</p>
1 ・ 2 ・ 4	5月	<p>テーマ『『教育学部成績評価ガイドライン実施要領2023』に基づく成績評価の組織的な点検評価について』</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の成績評価にかかる情報共有を踏まえて。 教育学部アセスメントプランを踏まえて。 (話題提供:FD委員・FDセンター委員・教務委員・将来構想委員会/カテゴリ:教育) 	5月11日	<p>令和4年度の成績評価にかかる情報共有を踏まえて成績評価に関する確認と課題の共有が図られた。教育学部のDPを踏まえた「教育学部成績評価ガイドライン実施要領2023」に基づく成績評価に向けた今後の予定等について、確認と共有が図られた。</p> <p>中村学園大学教育学部アセスメントプランについて、「評価項目(27項目)」、「評価レベル(機関レベル・学位プログラムレベル・授業科目レベル)」、「評価の実施時期(入学前・入学時、在学中、卒業時・卒業後)」の提案がなされた。</p>
5	6月	<p>テーマ1「直近3年間の進路状況と展望に基づく教職指導・保育職指導の提案について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の学生の進路に関する状況。今年度の教職指導・保育職指導の方針。 (話題提供:就職委員・教職課程委員会・保育課程委員会・連携推進部/カテゴリ:教育) <p>テーマ2「保育士養成倫理綱領について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 養成校教職員としての倫理について。 (話題提供:FD委員・保育課程委員会・連携推進部/カテゴリ:教育) 	6月1日	<p>テーマ1:就職委員ならびに教職課程委員会・保育課程委員会の担当者より、学生の卒業後の進路(就職)に関する実態の報告と共に、教職指導・保育職指導の現状と課題にかかる認識の共有を図り、学生指導の参考となる知見の共有が図られた。</p> <p>テーマ2:「全国保育士養成協議会保育士養成倫理綱領」「全国保育士養成協議会保育士養成倫理綱領ハンドブック」を用いて養成校教職員としての倫理や実習園訪問報告書の変更点及び留意点について確認と共有が図られた。</p>

5	7月	<p>テーマ「研究活動の活性化について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費をはじめとする競争的研究資金の獲得や学内研究支援制度への申請に向けて学部教員の研究テーマを相互に知る機会とし、共同研究の可能性を探る。 ・国の教育・保育政策に係る最新情報の共有と研究シーズの共有。 ・教育学部の初等教育や保育におけるプレゼンスを高める組織的研究のありようをめぐる検討。 <p>(話題提供：研究委員・連携推進部／カテゴリ：研究)</p>	7月6日	<p>研究委員より、研究活動の活性化について、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」「内閣府(2021)総合イノベーション戦略2023」などの資料を基に説明がなされた。また、活性化の方策として、「新たな研究テーマやアプローチの探求」「学際的な連携とコラボレーション」「学内研究支援制度の紹介」「学内研究発表の機会の紹介」の共有と、「令和5年度事業計画 教育学部 KPI:専任教員の外部競争的資金の獲得率 23%→49%(16件/33名)の確認がなされた。また、「学生における研究活動の活性化」の観点から「ゼミ活動のセルフチェック」について情報の共有が図られた</p>
1 ・ 2 ・ 5	8月	<p>テーマ1「教育の質保証とルーブリックの実効性検証について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業ルーブリック、課題ルーブリック、ポートフォリオ、ICTを活用した授業について。 <p>(話題提供：FD委員・FDセンター委員・先行実践教員／カテゴリ：教育)</p> <p>テーマ2「100分授業導入にかかる検討について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100分授業導入に関する意見募集(依頼)：結果フィードバック」(令和5年2月2日分)を参考に、再度、意見の集約を図る。 <p>(話題提供：FD委員・FDセンター委員・教務委員／カテゴリ：教育)</p>	中止	<p>テーマ1:「教育の質保証とルーブリックの実効性検証について」については2月FDにて実施予定</p> <p>テーマ2:「100分授業導入にかかる検討について」は9月に実施された「教育ワークショップの100分授業先行実施報告」の内容を受け、1月FDにて実施予定</p>
3	10月	<p>テーマ「学部の情報教育について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数理・データサイエンス・AIに関連する科目等の実施状況にかかる情報共有。 <p>(話題提供：情報教育センター・教養教育センター・FD委員・FDセンター委員・教務委員・将来構想委員会／カテゴリ：全般)</p>	10月5日	<p>メディアセンター長より、「小中高までの情報化の現状」「教員育成指標の修正(ICTや教育データの活用が追加)」「文部科学省:教員のICT活用指導力のチェックリスト」、及びUNESCO、OECDの関連資料、本学部の現状についての共有がなされた</p>

5	12月	<p>テーマ「令和5年度 FD 実施状況中間報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ II-1 実施計画①、II-2 実施報告①、III-1 実施計画②、III-2 実施報告② <p>(話題提供：FD 委員・FD センター委員／カテゴリ：全般)</p>	12月7日	<p>令和5年度のFD実施状況について中間報告がなされた。10月までに5回実施され、7つのテーマで話題提供がなされた。8月に予定されていた内容は、より効果的なものになるよう実施時期を再検討し、それぞれ1月、2月に実施することとした。</p>
5	1月	<p>テーマ「社会連携の事例について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育学部の社会連携事例の実態と取り組み事例を報告。 ・ 大学及び学部の周年行事等に向けた取り組みについて。 <p>(話題提供：FD 委員・事例報告者・保育課程委員会／カテゴリ：社会連携)</p>	1月11日	<p>担当者より「社会連携の事例について」と題して、「絵本制作ワークショップ」「R5年度教育学部Nプロジェクト紹介(野中ゼミ・西田ゼミ・教育学部有志学生)」「倉原ゼミ一人一花運動」の取り組みの紹介と活動報告がなされ、教育学部における地域連携の成果と課題の共有が図られた。</p>
1 ・ 2 ・ 5	2月	<p>テーマ「教育の質保証とルーブリックの実効性検証について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ルーブリック、課題ルーブリック、ポートフォリオ、ICTを活用した授業について。 <p>(話題提供：FD 委員・FD センター委員・先行実践教員／カテゴリ：教育)</p>	2月2日	<p>担当者より「教育の質保証とルーブリックの実効性検証について」と題して、ルーブリック評価表の作成と活用にかかる取り組みの現状と課題について、担当講義科目での実践の詳細な報告がなされ、参考となる知見の共有が図られた。</p>
5	3月	<p>テーマ「第9次中期総合計画と令和6年度FD実施計画について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度の事業計画の達成度評価について。 ・ 令和6年度の事業計画について。 ・ 令和5年度のFD実施最終報告について。 ・ 令和6年度のFD実施計画について。 <p>(話題提供：FD 委員・FD センター委員・教務委員・将来構想委員会・各計画の主担当者・各種委員／カテゴリ：全般)</p>	3月7日	<p>第8次中期総合計画の令和5年度の実施報告と最終達成度評価、第9次中期総合計画の説明及び令和6年度(1年次)事業計画、令和5年度学部FD研修実施の最終報告、令和6年度の学部FD研修計画(4・5月)実施計画について説明があり、共有が図られた。※令和6年度のFD実施計画は、FDセンター重点項目が確定後に作成</p>

<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月は全学の教育ワークショップに参加。 ・ 第8回中村学園教職教育研究会（令和6年3月7日） において、教職教育や保育者養成教育に関する研究の成果を共有し、研究と教育の展望について意見交換を行う。 	<p>9月15日</p> <p>3月7日</p>	<p>100分授業を導入するメリットや導入までの道筋、導入までにクリアすべき課題などについて学ぶことができた。</p> <p>全14本の発表があった。それぞれの先生が行っている研究活動や講義内容、学生支援などについて幅広く学ぶことができた。</p>
----------------------	---	--------------------------	--